

事業完了(廃止等)報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年5月30日 ~ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校2校 神戸市立丸山中学校西野分校、兵庫中学校北分校 <p>ア. 教育課程に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力、入学目的に応じた弾力的な教育課程の編成。 <p>エ. その他、夜間中学における教育活動の充実に関すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校既卒者の学び直しに対応する教育活動 ・外国籍生徒の日本語習得支援に関する教育活動
調査研究のねらい	<p>ア. 夜間中学校には、成人し社会生活を営んでいる者が多い。その生徒の就学目的は様々であり、学齢超過者に指導を行う際、実情に応じた特別の教育課程を編成し、指導方法を工夫し、生徒個々が必要としている学力の向上を目指す。</p> <p>エ. 神戸市の夜間中学校における外国籍生徒の在籍比率は、8割を超える。外国籍生徒が、日本社会に適応できるように日本語習得支援活動を教育課程内外で行う。</p>
調査研究の成果	<p>《 神戸市立丸山中学校西野分校 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍者29名中26名が外国籍生徒（5カ国）であり、日本の公立中学校としての教育課程を実施していくうえで、日本語指導が必要不可欠である。年々、外国籍生徒と国数が増えている。 <p>【年間を通じて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学力、日本語の習得状況を勘案して、国語、社会、数学、理科、英語については、全校を6つの習熟度別学級に編成して授業を実施した。 実技科目については、全校を1学級として、全教員でチームティーチングを実施した。 学年制は維持し西野分校への帰属意識を育て、誇りを持たせた。 ・9科目すべての授業に、複数の教員が入った。 ・理科において、DVD教材を有効利用し理解の進展を図った。 ・日本語指導体制を見直し、改善した。 <p>日本語指導を、教育課程外の時間に行った。</p>

生徒の在校中の時間に、個人の能力に合わせ、日本語指導を適宜行った。

- ・校内生活、行事学習、学習成果物をデジタルカメラで撮影し、印刷掲示及びホームページや学校紹介印刷物に利用、丸山中学校西野分校の教育活動の周知に努めた。

【4月】新入生徒の受け入れ 7月20日までで11名
(1年生11名、2年生9名、3年生9名)

- ・全職員による学習指導検討会議
教科習熟度と日本語習得状況に合わせた教材を検討した。
PCを使っての自主教材の作成のため、多量のPCインクが必要。

【5月～3月】毎月

- ・教科打ち合わせ会で個人ごとの学習の進捗状況を確認した。
習熟度と日本語習得状況を勘案し、毎月学級替えを行った。

【7月】

- ・16日(火)神戸市長 久本氏 夜間中学校訪問。西野分校が直面している外国籍生徒への指導について、支援を要請した。
- ・29日(月)の午後の4時間と31日(水)の午後の4時間、こうべ子どもにこにこ会より三木知津子氏を講師に迎え、日本語指導職員研修を行った。

【8月】

- ・夏季休業中個人別補習を実施した。(文化祭作品づくりを含む)
- ・高等学校等進学希望者への補習を3月まで行った。

【10月】

- ・14日(月)神戸市副市長 寺崎氏 夜間中学校訪問。夜間中学校における外国籍生徒の日本語指導について理解が得られた。

【11月】

- ・1日(金) 文化発表会(学習成果発表会)
地域住民も観覧、夜間中学校教育への理解が深まった。丸山中学校吹奏楽部、太田中学校1年生も参加、中学生にとって、「学び」の意味を実感する機会となった。
- ・26日(火)全市対象 授業公開
地域住民、神戸市立学校園職員、神戸市教育委員会事務局職員が授業を参観し、夜間中学の教育活動への理解が深まった。

【12月】

- ・6日(金)、7日(土)神戸市総合教育センターにおいて、第65回全国夜間中学校研究大会兵庫大会を開催。6日の17時より学校公開を実施した。

【1月】

- ・新年度教育課程原案編成会議(校長、教頭、教務部長)
- ・新年度教育課程の承認(職員会議)
- ・全職員による学習指導検討会議

【2月】

- ・作文発表会
- ・入学面談開始 2月1日～7月20日
入学資格、入学目的の確認
入学資格は、神戸市在住者もしくは、神戸市在勤者。
学力（日本語習得状況）の確認
入学希望者に対して体験入学を実施（1日間）

【3月】

- ・新入学生徒受け入れ準備
- ・学級編成会議（職員全員参加）
学習面において、日本語習得状況を勘案した習熟度別学級編成を行う。全校を6学級に編成する。

≪ 神戸市立兵庫中学校北分校 ≫

- ・在籍者12名中9名が外国籍生徒（6カ国）であり、日本の公立中学校としての教育課程を実施していくうえで、日本語指導が必要不可欠である。

【年間を通じて】

- ・国語は、全校生徒を7学級の習熟度別編成、数学は全校5学級の習熟度別編成、英語は学年別習熟度3学級（全校で9学級）の編成で授業を行った。理科、社会については、学年別に授業を行った（計6学級編成）。実技科目は全校一斉で授業を行った。すべての授業において、チームティーチングを実施した。
- ・理科の授業において、DVD教材を有効活用し、視聴覚による授業理解が進んだ。
- ・校務分掌に「日本語指導」の担当を加えた。（学習指導部）
4月、新着任者に対する日本語指導研修の実施。
年3回の「日本語指導に関する職員研修」を実施。
- ・学校図書館を継続して整備。読む力の育成を図っている。
- ・外国人生徒に日本語習得のための授業を行った。
希望生徒に対して、始業前に1時間の日本語学習を実施した。
月曜日は神戸YWCAの日本語講師2名が授業（謝礼は兵庫県から）
分校職員は授業に参加し、日本語の指導方法を学んだ。火曜日は生活言語の授業、水曜日は文字学習（読み・書き）、木曜日は理科学習用語、金曜日は社会科学習用語、の授業を行った。
日本語学習の教材を収集整理し、効果的に使用した。小学校の教科書も教材作成参考図書として、職員と生徒が有効活用した。
- ・校内生活、行事学習、学習成果物をデジタルカメラで撮影し、印刷掲示及びホームページや学校紹介印刷物に利用、兵庫中学校北分校の教育活動を広報した。
- ・定時制高校との交流会を実施し、卒業後の進路に対する意識を高めた。

【4月】

- ・新入学生徒の受け入れ 7月20日までで3名
(1年生3名、2年生8名、3年生4名)
- ・全職員による学習指導検討会議を開催した。
習熟度別学級編成と学年制の維持を確認した。

【5月～3月】毎月

- ・教科打ち合わせ会で個人ごとの学習の進捗状況を確認し、PCを使って教材を個別に作成し、印刷配布した。

【8月】

- ・長期休業中の課題を個人の習熟度に合わせて作成した。
- ・個人別補習を実施した。(文化祭作品づくりを含む)
- ・高等学校等進学希望者への補習を行った。～3月まで

【9月】27日(金) 運動会、兵庫中学校体育館で実施した。

【10月】

17日(木) 文化発表会(学習成果発表会)を分校で実施した。
兵庫中学校吹奏楽部が参加した。

【12月】

- ・6日(金)、7日(土)神戸市総合教育センターにおいて、第65回全国夜間中学校研究大会兵庫大会を開催。
外国籍生徒のための日本語教育の指導と現状について分科会で発表した。6日の16時50分より学校公開を実施した。

【1月】

- ・新年度教育課程原案編成会議(校長、教頭、教務部長)
- ・新年度教育課程の承認(職員会議)
- ・全職員による学習指導検討会議

【2月】

- ・入学面談開始 2月1日～7月20日
入学資格、入学目的の確認
入学資格は、神戸市在住者もしくは、神戸市在勤者。
学力(日本語習得状況)の確認
入学希望者に対して体験入学を実施(3日間)入学資格、入学目的の確認

【3月】

- ・作文発表会を実施。
- ・新入学生徒受け入れ準備
- ・学級編成会議(職員全員参加)
学習面において、日本語習得状況を勘案した習熟度別学級編成を行う。